

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和4年度)

評価分科会	総務文教分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名
	1	スマイルシティ・ライフ体験事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 県外での本市の認知度がまだまだ不十分である。移住相談はもとより、お試し暮らしなど魅力を感じてもらえる体験を密にした事業に取り組み、確実に成果につながるよう努力に期待する。

その他特記事項
 移住してほしい年齢層にターゲットを絞り、移住希望者の受け入れ体制を整えるなど、他市町の状況や事業も研究すべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	2	アプリを活用した情報発信充実事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 広報誌を補う媒体として、使いやすさやメニュー機能の拡充に力を入れ、市民のニーズを取り入れた情報発信の充実強化に努め、さらなる行政サービスの質の向上を図る。

その他特記事項
 LINE登録者にインセンティブを設けることで、新規LINE登録者数をさらに増やすべきである。目標値設定を高くすべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	3	防災情報伝達システム整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 ハード面・ソフト面の両面から検証し、逃げ遅れゼロを見据え、防災情報を確実に市民等に伝達する取組が強く望まれる。

その他特記事項
 かなり対策は進んできたと思うが、システムのテストを実施し、周辺住民への聞き取りにも力を入れ、さらなる進化に期待する。

対象事業	No.	事務事業名
	4	地域運営組織推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 本事業の取組の目的、必要性など市民の理解度は低いと思う。制度の方向性について情報共有を図り、市との連携強化に努める。市長の強いリーダーシップが望まれる。

その他特記事項
 新たな時代へ向けた取組だが、11地域の実情もまちまちであり、とまどい、ためらいすらうかがえる。地域出身の職員は複数人、兼務発令を行うなど、実践部隊として関わるべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	5	地域交流センター運営事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 地域づくりの推進、生涯学習の推進、地域住民が主体的に地域課題解決に向けた取組ができるよう、ネットを活用した情報発信や学びの場を提供、施設の環境整備にも力を入れていくことに期待する。

その他特記事項
 地域住民が安心かつ快適に利用できる地域の拠点を目指し、利便性向上に向けた取組を行うべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	6	文化会館改修事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 新幹線厚狭駅南口に近い場所にあり、市民の評価の中に文化度の高さは多くの人々が求めている。文化の殿堂として平成6年開館から27年を経て、今回の改修工事となった。学究的な市政の取組に期待する。

その他特記事項
 老朽化調査及び中長期整備計画については、令和5年末を目途に業務完了を目指す。不二輸送機ホールの方向性を含め、会館を安全に使用できる更新計画の検討を求める。

対象事業	No.	事務事業名
	7	パラサイクリングのまちPR事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 本市のPRに結びつける事業として、市内全域で支援の輪の拡大に取り組むべきである。合宿支援など引き続き山陽オートレース場との調整が重要であり、このことが、スポーツの推進、地域活性化につながるよう期待する。

その他特記事項
 交流事業を通じて、パラサイクリングのことを広く知ってもらい、障害者スポーツへの理解を深めていくことを求める。

対象事業	No.	事務事業名
	8	山口東京理科大学授業料等減免補助事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 学生の経済的負担を軽減することを目的として、修学を支援する制度であり、有意義な対応であると評価する。今後においては授業料等免除に要する費用の確保と適用かつ公平な運用を求める。

その他特記事項
 引き続き、減免対象者となる低所得世帯の学生の経済的負担を軽減することにより、修学を支援していただきたい。

対象事業	No.	事務事業名
	9	山口東京理科大学運営費交付金事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 大学運営について、公立大学法人と情報共有のもと、持続可能な運営を確保し、円滑な事業運営ができるよう、必要とする財源で行う。なお、大学においては、学生数の確保は必要十分条件であると思料する。

その他特記事項
 優秀な学生の確保と将来を担う学生の指導に期待する。

対象事業	No.	事務事業名
	10	山口東京理科大学施設整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 工事の進捗状況等について、大学と速やかに情報の共有を図り、適切かつ速やかな施設整備に取り組まれることを期待する。

その他特記事項
 施設整備においては大学と慎重に協議を重ね、整備計画の策定や計画の変更があれば、できるだけ早急に議会に提示すべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	11	GIGAスクール推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 児童生徒が端末を運用し、学習できる環境を考えることは、将来を見据えた取組として極めて重要である。ICT支援員の配置、運営支援体制の整備、フィルタリングソフトの設定などの教育環境の整備に的確な取組を強く望む。

その他特記事項
 ICT支援員の継続的な配置や、1人1台端末の有効的な活用及び生成AIの学校現場の利用に向けた慎重な対応を求める。

対象事業	No.	事務事業名
	12	学校図書システム更新事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
 学校図書館機能を充実・拡大させ、ニーズに応じた図書の蔵書の充実させながら、児童生徒の豊かな読書環境づくりのさらなる推進に期待する。

その他特記事項
 1人1台端末からの貸し出しが可能となり、利用の拡大を図りながら、児童生徒への丁寧な指導を期待する。

対象事業	No.	事務事業名
	13	高千帆小学校校舎整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止	○			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

児童が安心して学校生活を送ることができるようになり、良好な教育環境が確保できたことは喜ばしいことである。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	14	プラネタリウム投映事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止	○			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

完了事業

その他特記事項

プラネタリウム投映の映像記録資料を、今後有効的に活用することを期待する。

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和4年度)

評価分科会	民生福祉分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名
	15	キャッシュレス決済導入事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・スマート自治体推進のため、継続して行うべき事業である。 ・市民のニーズに対応できるように、また、窓口業務が現在よりもスムーズになるように、デジタル化を推進するべきである。
その他特記事項
市民に対して更に周知するため、チラシを作成し、配布すべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	16	マイナンバーカード交付関連事務事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・保有者が増加すると関連業務も増加するので、今までどおり正確かつ迅速に対応していく必要がある。 ・引き続き実施していくべき事業である。 ・マイナンバーカードの普及を進め、業務の効率化を推進する必要がある。
その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体等で職員による事務のミスが目立っているため、本市においても慎重に業務を遂行する必要がある。 ・セキュリティ面の対策を検討する必要がある。

対象事業	No.	事務事業名
	17	空家等の適正管理の補助事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・事業をより効果的に進めるため、補助金額を拡大すべきである。 ・空家等の適正管理の補助金、空家バンク等を活用して更に事業を進めるべきである。
その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	18	子育て支援アプリ導入事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<p>皆で子どもの成長を喜び、温かい目で見守るためのツールであるため、家族との共有機能を周知するなど利用を広げるべきである。</p>
その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	19	出産祝金給付事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	20	入学祝金給付事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

必要な施策であるので、継続すべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	21	小野田地区公立保育所整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

引き続き計画的かつ慎重に進めていくべきである。

その他特記事項

- ・委員会や行政説明会で出た意見に対しては誠実に回答すべきである。
- ・災害対応に十分留意しながら取り組むべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	22	ねたろう保育園運営事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

引き続き安心安全な運営に努めるべきである。

その他特記事項

- ・保育士数が法定基準を上回っているのは良いことである。
- ・水害について、保護者や園児、地域住民の不安を払拭できるよう運営していくべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	23	多胎妊産婦支援事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<p>更なる周知を行い、健診を受けていただけるよう進めるべきである。</p>
その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	24	スマイルエイジング薬局事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・目標に掲げる薬局数の達成に向け、薬局に対してスマイルエイジング薬局になるメリットをより周知し、強力に進めていくべきである。 ・市民の健康意識が高まるよう、認知が広がる方法を考え、気軽に相談できる体制をつくっていただきたい。
その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・旧山陽町にもスマイルエイジング薬局を設ける必要がある。

対象事業	No.	事務事業名
	25	がん患者医療用補整具購入費助成事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・患者に寄り添った対応につながる事業である。 ・がん患者の心理的・経済的な負担の減少につながる施策であり、必要な事業である。
その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	26	子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充		○		
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<p>不安なイメージを払拭するのは難しいが、有益な事業なので、粘り強く進める必要がある。</p>
その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	27	小野田浄化センター施設整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

令和9年度の竣工に向け、今後も着実に事業を進めていくべきである。

その他特記事項

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和4年度)

評価分科会	産業建設分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名
	28	農業次世代人材投資事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・新規就農者の育成や経営の安定化は必要であり、今後も継続する必要がある。
- ・新規就農者の増加が望めない。
- ・一次産業の拡充特に農業は、学校給食の提供として重要。
- ・離職者が発生しないことや、高収入を達成できるよう、日常的な支援・面接等を行うこと。
- ・新規就農の経営安定化のため必要性はあるが、実績が追いついていないと感じる。現状維持で効果を発揮してほしい。
- ・次世代を担う農業者の確保及び育成を図る上で重要な事業である。新たな国の新規就農支援に期待したい。

その他特記事項

- ・新規就農者の育成を考えて、儲かる農業を支援していく。
- ・本事業は令和3年度採択分で廃止となったが、新事業の活用により、引き続き新規就農者の確保に努めるべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	29	多面的機能推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・農用地、水路、農道等の維持管理に対して、成果が出ており、今後も継続する必要がある。
- ・農地の環境保全を守って行く事は、将来の農業を守って行き又、災害防止に繋がる事業でありコストの拡大は不可欠
- ・異常気象への対応。大雨対策。環境美化としても拡充が望ましい。
- ・高齢者や離農者が増えつつある現状を思えば、後継者育成も必要である。
- ・経済的な地元負担なしで、農作業環境を改善する事業であり、活動農用地面積を維持していくためには必須の事業である。

その他特記事項

- ・農業は肥料、燃料費の高騰により継続して運営していくのが困難となっている。農業を守っていく為の支援は拡大すべき。
- ・活動組織の一部では、補助金を使い切りの実態がある。
- ・補助金の内示額が減少したことは残念である。補助金の確保に尽力すべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	30	有害鳥獣捕獲奨励事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・有害鳥獣については市街地での目撃情報が多くなってきている。また、市民から対策を求める請願書も出されており、捕獲体制の強化を図る必要がある。
- ・有害鳥獣の被害は農作物だけでなく、近年は身近な場所でイノシシ等が目撃されている。人への被害防止も必要とされるので拡大される事業
- ・農作物被害防止と人的被害防止としても拡充が望ましい。
- ・市街地への被害が出てきている。奨励補助金の拡充を求める。
- ・市街地での目撃情報は市民に大きな不安を与える。駆除体制を強化してほしい。
- ・農林水産物への被害防止のためには、今以上の補助金の導入は不可欠である。

その他特記事項

- ・国の財政支援策への活用を検討すべき。
- ・個人的に駆除をしている方の猟友会へ組織化をすることを望む。
- ・イノシシなど市街地での目撃情報も多くなっている現状、市民への注意喚起、対処方法の周知も必要ではないか。

対象事業	No.	事務事業名
	31	地方バス路線維持対策事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・市民の日常生活に必要なバス路線を維持するために必要な事業である。今後はバスの利用促進を図るための施策に取り組む必要がある。
- ・市民の地方バス路線を維持していくのは現状の方向性で良いが、高泊のデマンド交通への取り組みを検証していき、新たな交通手段を考えていく
- ・本来のデマンドタクシー(ドアツウドア)へ近づけ利用者の利便性を図り、定額方法を考案していく。
- ・3事業者は営業利益が上がるよう努力すべきだ。時刻表の無料配布、バス乗り継ぎの利便性など再考を求める。
- ・地域公共交通計画に基づき、事業者と引き続き連携し市民に利用しやすいバス路線を維持する。
- ・市民の生活交通の維持のため、必要な事業とは思いますが、事業としての転換期にきているのではないか。

その他特記事項

- ・ICカード化を取り入れ、利用者の利便性を張ることが大切。
- ・執行部が「運行」をバス会社へ求めたとの回答があったが、支援対象者は「高齢者」でバス会社ではない。
- ・運転手の確保など課題も多いが、様々な交通手段の導入やICカードの活用など一考を要する。

対象事業	No.	事務事業名
	32	駅舎バリアフリー化整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・JR厚狭駅にエレベーター設置や多機能トイレ整備を行うことでバリアフリー化を目指す事業であり、今後も継続する必要がある。
- ・鉄道利用者を増やすためにもエレベーターは必要である。
- ・エレベーター設置、点状ブロックなどの整備により、駅利用者の利便性は向上した。引き続き、在来線のエレベーター設置も急がれるべきである。

その他特記事項

- ・車椅子でも切符が購入できるよう整備されたが、誘導社員不足で対応がスムーズにっていない。
- ・小野田駅へのバリアフリー法の適用要望を強く求めていくべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	33	地域公共交通計画策定事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止	○			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・完了
- ・利用者の声を聞き改善に取り組むこと。
- ・山陽小野田市地域公共交通計画策定により、次のステップ計画実行に向け、スピード感を持って進めるべきである。

その他特記事項

- ・交通弱者の声を聞き計画に補充をしていくこと。
- ・高齢化に即した地域公共交通計画の実行性が問われる。

対象事業	No.	事務事業名
	34	通学路安全対策事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・歩道が狭い市道や歩道のない市道において、歩道や路側帯の整備を実施していくことで、通学路の安全向上を図る必要がある。
- ・今後も早期に通学路の危険箇所を保全していく。その為に日頃の通学路の点検をしていく事が必要
- ・子ども安全が何より大切です。常に危険箇所の情報が入手しやすい体制作りを構築していくこと。
- ・未実施の危険箇所が多くあるため、事業の継続・拡充を望む。
- ・歩道橋の老朽化、白線の消えかかりなど市内各所に不備が見られる。児童生徒の安全な通学の為にも点検、補修は速やかに実施してほしい。
- ・通学路の安全対策は不可欠な事業である。引き続き整備の実施に尽力すべきである。

その他特記事項

- ・市のLINEを活用した道路情報の受け入れなど、関係機関だけでなく市民全体への意識付けも大事ではないか。

対象事業	No.	事務事業名
	35	道路施設等点検事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・道路施設の劣化等による事故を防ぐために、道路施設の点検、調査を実施する必要がある。
- ・日頃の道路点検により、安全性の維持と事故防止に努める。
- ・人命に関わることは、優先すべきです。特に子どもがよく活用している道路を優先的に取り組むこと。
- ・市道の不都合は安心安全な市民生活から遠ざかる。事故防止のためにも強化が必要。
- ・道路の劣化等は重大事故につながりかねない。市道については継続的な点検を怠ってはならない。

その他特記事項

- ・どこの道路をどのように調査し計画されるのか、資料の不備で回答できない。
- ・市内全域の点検には市民の協力が必要不可欠と思う。市のLINEを活用するなどの検討も考慮すべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	36	ハザードマップ整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止	○			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・完了
- ・具体的に市民に浸透させていく事が大切です。
- ・マップがどのように活用されているのか点検すべきである。
- ・今や洪水などの災害に想定外はない。ハザードマップの全戸配布は当然で、市民の活用に向けた努力も重要である。

その他特記事項

- ・ハザードマップに関心が向くように定期的に市広報などで知らせてほしい。
- ・各家庭でのハザードマップの活用に向けた指導や周知が必要と思う。

対象事業	No.	事務事業名
	37	スマイルエイジングパーク事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・都市公園等に健康遊具やウォーキングコースの整備をすることで、市民が気軽に運動に取り組みことが出来る環境を整備する。今後は、糸根公園をスマイルエイジングパークとして整備していく必要がある。
- ・市民の声や専門家の意見を取り入れ、若者が楽しめる施設として考えていく。
- ・早期に基本計画を提示されることを望む。また、花の海との連携・支援を具体的に示されたい。
- ・公園利用者へ健康遊具があることを周知徹底し、利用促進を図る。
- ・健康遊具の設置などスマイルエイジング事業を確実に進めることが重要である。今後も都市公園などに広げていくべきである。

その他特記事項

- ・植生地域の街づくり「マスタープラン」とパーク事業が連動していない。「箱もの」に終わりそうである。
- ・途切れることなく事業を推進していくことに期待している。また、交流人口の核である花の海との連携も重要と考える。

対象事業	No.	事務事業名
	38	本山岬公園(くぐり岩)整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・法面復旧工事は完了したが、今後はトイレや駐車場の整備に取り組んでいく必要がある。
- ・本山のくぐり岩、竜王山一帯の観光地化、きらら交流館のリニューアルを含め、この南部地区は観光客の増加が期待できる。
- ・きらら交流館やガラス工房から本山岬公園へと人の動線となようにしていく。
- ・再々の被災を被っているが、残事業もあり拡充すべきだ。
- ・期待の整備計画が豪雨の影響を受けたが、令和5年から産業観光ツアーに組み込まれる予定などあり、整備を急ぐべきである。

その他特記事項

- ・早期に整備を完了し、市として誇れる観光地としてPRを強化すべきである。